※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	担当者作成プリントなど						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これからの社会生活を送るにあたって、持続可能な社会をつくる暮らしの担い手になること、生涯を見通して、これからの時代を主体的に生きる力を身につけることが大事です。衣生活、食生活、住生活、子供の発達と保育、高齢社会、消費生活について学ぶ中で、求められる態度、力を身につけていきましょう。

２　学習の到達目標

・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに関わる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域、社会の中から問題を見いだしてし、解決策を考え、評価・改善をし、考えたことを論理的に表現する力を身につけている。	課題の解決に主体的に取り組み、協働的な実践、改善を通じて、よりよい社会の構築に向けて、自分、家庭、社会の中で生活を創造しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4～5月	生涯を見通し人生をつくる	・人生を展望する ・目標を持って生きる ・人生をつくる ・家族・家庭を見つめる ・これからの家庭生活と社会	a:自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。 b:生活課題に対して意思決定し、歩みたい人生の目標を考え、表現することができる。 c:誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるにはどのような社会を実現すればよいか、考えて実践しようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
6～7月	子供共に育つ	・命を育む ・子供の育つ力を知る ・子供と関わる ・子供との触れ合いから学ぶ ・これからの保育環境	a:・子どもの発達に応じて適切に関われるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。また、子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。 b: 命に対する責任や、社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について考え、表現することができる。社会全体で子育てを支援していくために、現代の子育て環境の変化や課題について考え、表現することができる。 c: 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	超高齢化社会を共に生き、支える	・超高齢・大衆長寿社会の到来 ・高齢期の心身の特徴 ・これからの超高齢社会 ・私たちの生活と福祉 ・社会保障の考え方 ・共に生きる	a: 超高齢社会の背景を理解するとともに、加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解する。 b: 高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考え、表現することができる。 また、高齢期を支える社会の仕組みや課題について考え、表現することができる。 c: 超高齢社会の課題を踏まえて、自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにするとともに、地域社会の一員として高齢者との関わり方を考え、行動しようとする。高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考えようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

9 ～ 10月	食生活をつくる	・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 ・食品の選択と安全 ・生涯の健康を見通した食事計画 ・調理の基礎 ・食生活の文化と知恵 ・これからの食生活	a: よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。また、自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解する。さらに、安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。 b：自分と家族の食生活を計画・管理できるようになるために、各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、「健康によい、栄養バランスのよい食事」とはどのようなものかを考え、表現することができる。 c：食生活の自立に必要な調理の知識と技術を生かし、調理や加工によりおいしさがどのように変化するか考え、実践しようとする。また、世界の食文化に関心を持ち、私たちの食生活への影響について理解する。考えて実践しようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

１０月～１１月	衣生活をつくる・	・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・衣生活の文化と知恵 ・これからの衣生活	a：私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。また、健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。さらに、被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する。 b：全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について考え、表現することができる。 c：現代に受け継がれる日本の衣文化の工夫を受け継ぐために、日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について調べようとする。また、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について調べようとする。次世代に引き継げる衣生活の在り方を考えるために、資源の消費の視点で自分の衣生活を考え、実践する。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

11～12月	住生活をつくる	・住生活の変遷と住居の機能 ・安全で快適な住生活の計画 ・住生活の文化と知恵 ・これからの住生活	a：生涯を見通した住生活について考え、将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。 b：自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を考え、表現することができる。 c：日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について調べようとする。持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について調べ、実践する。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート
12～1月	経済生活を営む	・情報の収集・比較と意思決定 ・購入・支払いのルールと方法 ・消費者の権利と責任 ・生涯の経済生活を見通す ・これからの経済生活	a：毎日の生活におけるさまざまな契約について理解する。また、販売方法や支払い方法が多様化する中で責任ある消費行動が取れるよう、契約の重要性について理解する。 b：生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について考え、表現することができる。 c：どうすれば持続可能な経済成長が実現できるかを考えて実践しようとする。また、自立した責任ある消費者として、よりよい意思決定ができるよう、現代の消費生活における意思決定をしようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

２月	持続可能な生活を営む、これからの生活を創造する	・持続可能な社会をめざして ・これからの生活をデザインする	a：人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 b：持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルの工夫を考え、表現することができる。 c：一人の主体者として、社会全体をよりよい方向に動かそうとし、これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて、実践しようとする。	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート 発表 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度